

BUSINESS REPORT 2014

平成26年3月期 中間報告書
[平成25年4月1日～平成25年9月30日]

The logo for YSK, consisting of the letters 'YSK' in a bold, blue, sans-serif font. The letters are filled with horizontal blue stripes.

焼津水産化学工業株式会社

天然素材の
フィールドで、
“おいしさと健康”を
追求します。

代表取締役社長

山本 和広



株主の皆さまにおかれましては、日頃より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ここに平成26年3月期 中間報告書をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

中期経営計画 *Change & Challenge*

当社グループは2013年度～2015年度までの「新3か年中期経営計画」を策定しました。新中期経営計画のスローガンは「Change & Challenge」です。“成長への再挑戦”という位置付けで、“変化”し、新しいことに“挑戦”していきながら、当社グループで過去最高の連結営業利益の更新に挑戦します。

「Change & Challenge」の基本方針

4つの柱に経営資源(ヒト・物・金)を集中投入し成長戦略を描く

既存事業の深化

新商品・サービス
開発

新規顧客開拓

新事業領域開拓

各部署・グループ会社の施策の具現化

「Change & Challenge」の定量目標

(単位：百万円)

	H25/3(実績)	H28/3(計画)	差異
連結売上高	20,813	24,800	+3,987
連結営業利益	1,391	2,200	+809
ROE(自己資本利益率)	4.9%	8.0%	+3.1pt

重点施策

1. 既存コア事業の深耕・事業継続計画(BCP)対応
2. 開発型企業への復権・回帰
3. 新事業への挑戦
4. グローバル展開と新たな海外拠点(東南アジア)の設置
5. グループ経営基盤の強化

上半期の業績

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)のわが国経済を取り巻く環境は、安倍政権の経済政策アベノミクスによる円高是正や株価上昇、雇用情勢の改善などを背景として、個人消費の持ち直しやデフレ状況の緩和も加わり、景気は緩やかに回復しつつあります。

このような中、当社グループでは、新中期経営計画「Change & Challenge」の初年度にあたり、自らが“変化”し、新しいことに“挑戦”していく企業風土を醸成しながら、更なる企業価値向上と持続的な成長の実現に向けた取り組みを進めております。

具体的には、4つの柱(i. 既存事業の深化、ii. 新商品・サービス開発、iii. 新規顧客開拓、iv. 新事業領域開拓)へ経営資源を集中投入すべく、販売及び開発の体制を見直し、既存事業を強化しつつ新規開拓専任の部署を設けて新たな分野への仕掛けを積極的に行いました。また、製造面では、8月29日に掛川市で新工場の起工式を行い、BCP対策を着実に進めるとともに、事業拡大に向けた生産性及び品質の向上に取り組んでいます。これらの施策を確実に成果に結び付けるため、各部署で数値目標を設定し、その進捗管理を実施することで計画の達成に努めました。

連結売上高につきましては、医療栄養食におけるOEM生産の減少が響き、101億73百万円(前年同期比27百万円、0.3%減)となりましたが、主力の調味料事業及び水産物事業では増収となりました。利益面につきましては、売上減少に伴い連結営業利益は5億59百万円(同41百万円、7.0%減)となりましたが、連結経常利益は営業外費用の大幅な減少に伴い6億15百万円(同13百万円、2.3%増)、連結四半期純利益は3億75百万円(同30百万円、8.8%増)となりました。

各事業セグメント毎の状況

調味料事業は、主に加工食品メーカー向けの液体調味料や粉体調味料の製造販売及び各種わさび類他香辛料の製造販売です。売上高は前年を上回り、42億63百万円(前年同期比

13百万円、0.3%増)、セグメント利益(営業利益)は6億4千万円(同51百万円、9.3%増)となりました。

機能食品事業は、機能性食品素材及び機能食品の製造販売及び医療栄養食のOEM製造販売ですが、医療栄養食のOEM製造販売が3億22百万円減少した影響で、売上高は31億86百万円(同3億51百万円、9.9%減)、セグメント利益(営業利益)は3億33百万円(同28百万円、8.0%減)となりました。

水産物事業は、主に冷凍鮪・冷凍鯉の原料販売並びに加工製品の製造販売です。鮪の販売が輸出向けを中心に好調に推移し、問屋船の入港も堅調だったことから、売上高は21億24百万円(同3億85百万円、22.2%増)となりました。セグメント利益(営業利益)は、前期から続く原料高の影響はあったものの、販管費の節減等で30百万円(同9百万円、43.2%増)となりました。

その他事業は、その他商品の販売ですが、売上高は5億99百万円(同74百万円、11.1%減)、セグメント利益(営業利益)は9百万円(同22百万円、71.0%減)となりました。

株主の皆さまへのメッセージ

当期の中間配当については、前期の中間配当と同じく1株当たり10円とさせていただきます。期末配当についても同じく1株当たり13円(中間配当とあわせて年間23円)を予定しております。

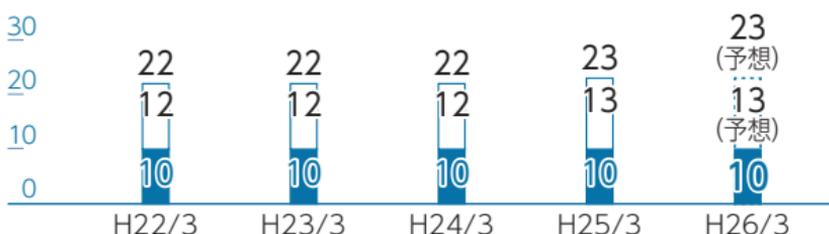
当社グループを取り巻く環境は依然として厳しいものがありますが、引き続きグループの力を結集して持続的な成長を実現し、株主価値の向上に取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 配当金推移 ●

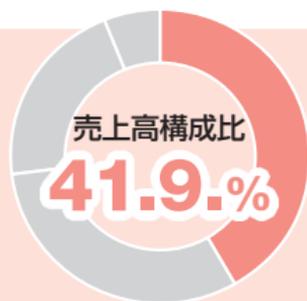
(単位:円)

■ 第2四半期 □ 通期



セグメント情報

天然調味料の製造 香辛料の製造
調味料の受託加工



調味料

売上高 **42億 63百万円** (前年同期比 **0.3%増** )

セグメント利益 **6億 4百万円** (前年同期比 **9.3%増** )

大手食品メーカーへの水産系エキスの販売や、大手流通向け香辛料のPB小袋品の販売などが好調で増収増益となりました。

天然調味料

カツオエキス 昆布エキス ホタテエキス
カニエキス オイスターエキス etc.

水産物の問屋業 倉庫業
水産物の加工



水産物

売上高 **21億 24百万円** (前年同期比 **22.2%増** )

セグメント利益 **30百万円** (前年同期比 **43.2%増** )

鮪の販売が輸出向けを中心に好調に推移し、問屋船の入港も堅調だったことから増収増益となりました。

※上記における各分野のセグメント利益は配賦不能費用(4億18百万円)
※当連結会計年度より、従来「その他」に含めていた「各種わさび類他香辛料」

機能性食品素材の製造

医療栄養食(流動食の受託製造)

健康食品の通信販売

機能食品の受託加工

売上高構成比

31.3%

機能食品

売上高

31億 86百万円 (前年同期比 **9.9%減** ↓)

セグメント利益

3億 33百万円 (前年同期比 **8.0%減** ↓)

医療栄養食で一部取引先向けのOEM生産の大幅な減少があり、その他の機能食品でカバー出来ず減収減益となりました。

機能性素材

N-アセチルグルコサミン アンセリン
マリンコラーゲン フコイダン コンドロイチン硫酸 etc.

その他商品

売上高構成比

5.9%

その他

売上高

5億 99百万円 (前年同期比 **11.1%減** ↓)

セグメント利益

9百万円 (前年同期比 **71.0%減** ↓)

その他商品については、取引先と販売品目の見直しを行ったため、減収減益となりました。

控除前のものです。

について報告セグメント区分の「調味料」に含めた記載に変更しております。

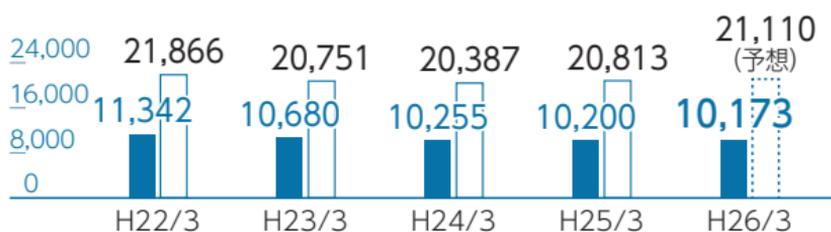
決算ハイライト

Financial Highlights

● 連結売上高 ●

(単位: 百万円)

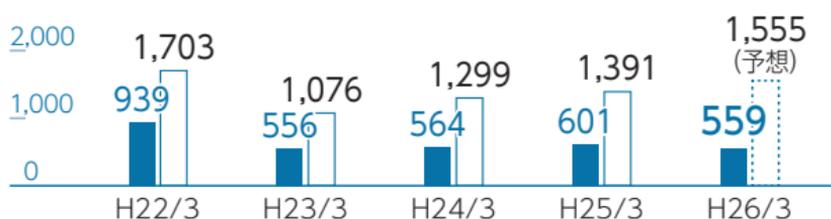
■ 第2四半期 □ 通期



● 連結営業利益 ●

(単位: 百万円)

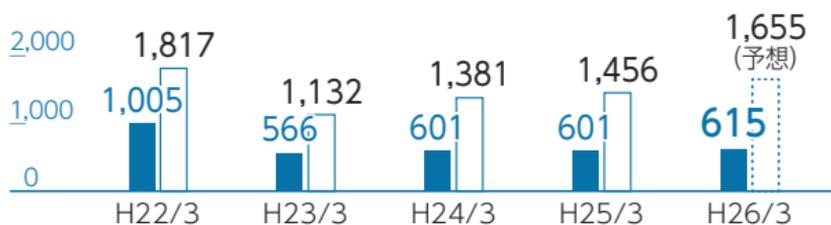
■ 第2四半期 □ 通期



● 連結経常利益 ●

(単位: 百万円)

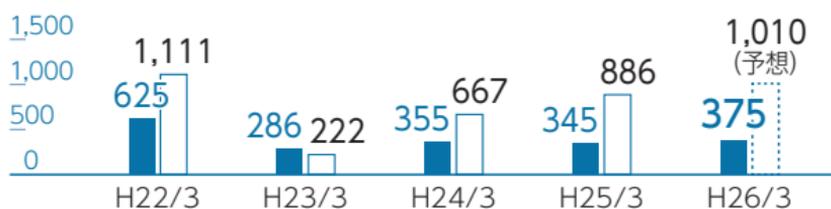
■ 第2四半期 □ 通期



● 連結四半期(当期)純利益 ●

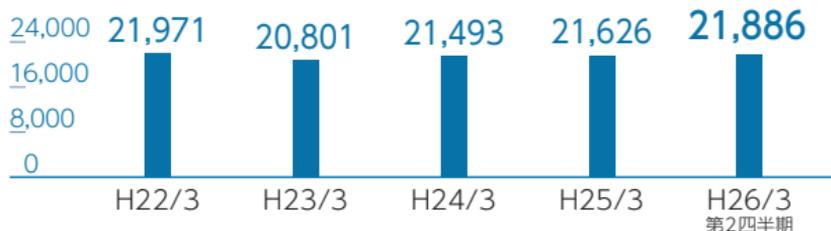
(単位: 百万円)

■ 第2四半期 □ 通期



● 連結総資産 ●

(単位: 百万円)



● 連結純資産/連結自己資本比率 ●

(単位: 百万円)

■ 連結純資産 ● 連結自己資本比率 (単位: %)



トピックス

掛川新工場の建設をスタート

当社は、昨年6月に取得した静岡県掛川市の新エコポリス第2期工業団地の敷地において新工場建築計画が相整い、8月29日(木)に起工式を行いました。

新工場は、今年から始まった中期経営計画「Change&Challenge」の重点施策のひとつであり、最新鋭の設備を導入し、コスト競争力のある効率的な生産を行うことで、更なる事業拡大を図ってまいります。



新工場完成予想図(2014年9月稼働予定)

N-アセチルグルコサミンで 元気なシニアを応援

9月9日(月)～16日(月)にかけて、グラスコート佐賀テニスクラブ(佐賀市)で開催された「N-アセチルグルコサミンカップ 第2回グラスコートベテランテニス選手権大会」に100%子会社のUMIウェルネス(株)を通じて特別協賛しました。

今後もN-アセチルグルコサミンをはじめとする美味しくて体に良いサプリメントの提供を行いながら元気なシニアを応援してまいります。



天然芝のグラスコート佐賀テニスクラブ



N-アセチルグルコサミン
(モンドセレクション金賞受賞)

起工式の様子

8月29日(木)、静岡県掛川市の新エコポリス第2期工業団地において、松井三郎掛川市長をはじめとするご来賓の方々をお招きし、新工場の起工式を行いました。

新工場は来年6月完成、9月本格稼働予定です。



当社の機能性素材アンセリンがNHKで紹介

10月22日(火)、当社の機能性素材アンセリンが、NHK総合の「ゆうどきネットワーク」にて紹介されました。

同番組の「明日からできる生活向上委員会」というコーナーで、かつおだしに関する特集があり、その中で「かつおだしの元気パワー アンセリン」というフレーズでアンセリンのさまざまな健康機能が紹介されたものです。

当社では、アンセリンに抗疲労、抗酸化、尿酸値上昇抑制などのさまざまな健康効果が期待されることを解明し、各種機能性データを発表しています。

当社は今後もアンセリンの可能性を追い続けていきます。



NHKの取材風景

連結財務データ

Consolidated Financial Data

連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科 目	前期末 (平成25年3月31日)	当第2四半期末 (平成25年9月30日)
(資産の部)		
流動資産	11,228	10,892
固定資産	10,397	10,993
資産合計	21,626	21,886
(負債の部)		
流動負債	3,100	2,766
固定負債	336	415
負債合計	3,436	3,182
(純資産の部)		
株主資本	17,906	18,107
その他の包括利益累計額	283	596
純資産合計	18,190	18,704
負債・純資産合計	21,626	21,886

連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	当第2四半期 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)
売上高	10,200	10,173
売上総利益	2,347	2,263
営業利益	601	559
経常利益	601	615
税金等調整前四半期純利益	565	611
少数株主損益調整前四半期純利益	345	375
四半期純利益	345	375

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	当第2四半期 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	260	670
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,282	△ 635
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 273	△ 184
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1	9
現金及び現金同等物の増加額(減少額△)	△ 1,297	△ 140
現金及び現金同等物の期首残高	3,282	2,379
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,985	2,239

会社概要(平成25年9月30日現在)

商号	焼津水産化学工業株式会社
事業内容	天然調味料及び機能食品の製造販売
資本金	36億1,764万円
創業年月日	昭和34年5月15日
取引銀行	静岡銀行 / 三井住友信託銀行
事業所	
静岡本部	〒422-8067 静岡県静岡市駿河区南町11番1号 静銀・中京銀静岡駅南ビル6F TEL.054-202-6030 FAX.054-202-6031
焼津本社	
営業所	東京営業所、大阪営業所、名古屋営業所、九州営業所
工場	静岡県内3工場(焼津・団地工場 榛原工場 大東工場)
連結子会社	●マルミフーズ株式会社 資本金 100百万円 当社の議決権比率 100% 主な事業内容 水産物の加工・販売 ●大連味思開生物技術有限公司 資本金 505百万円 当社の議決権比率 100% 主な事業内容 調味料等の製造・販売 ●UMIウェルネス株式会社 資本金 50百万円 当社の議決権比率 100% 主な事業内容 健康食品の通信販売

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
株主確定基準日	(1) 定時株主総会議決権行使株主 3月31日 (2) 期末配当金受領株主 3月31日 (3) 中間配当金受領株主 9月30日 (4) その他必要あるとき あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第1部
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱所	(〒168-0063) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話番号(0120)782-031[フリーダイヤル]
同取次所 公告の方法	三井住友信託銀行株式会社 全国各支店 電子公告 http://www.yskf.jp/index.html ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
株式に関する 各種手続きの お申し出先	(1) 証券会社経由で株式会社証券保管振替機構(ほふり)に株式がある場合 ▶株主様が口座を開設している証券会社 (2) 特別口座に株式がある場合 ▶三井住友信託銀行株式会社 お問い合わせは下記の証券代行部フリーダイヤル またはホームページをご利用ください。 フリーダイヤル(0120)782-031(24時間受付:自動音声案内) ホームページ http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

※ 配当金領収証で配当金をお受け取りの株主様は、別紙「配当金口座振込サービスのご案内」をご覧ください。

10月15日、ウェブサイトリニューアルしました

当社は10月15日、自社ウェブサイトのリニューアルしました。お客様により快適にウェブサイトを使っていただけるように、情報を整理し、分かりやすく見やすいレイアウトにし、IR情報や製品検索、研究開発情報、事業内容を充実させました。



旧ウェブサイト

新ウェブサイト



UMIオンラインショップで当社素材を配合した商品がお買い求めいただけます。

